

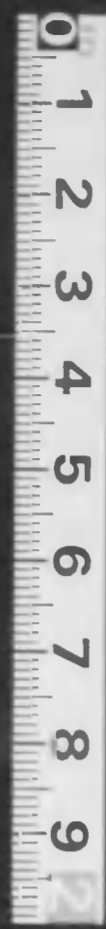
寫眞週報

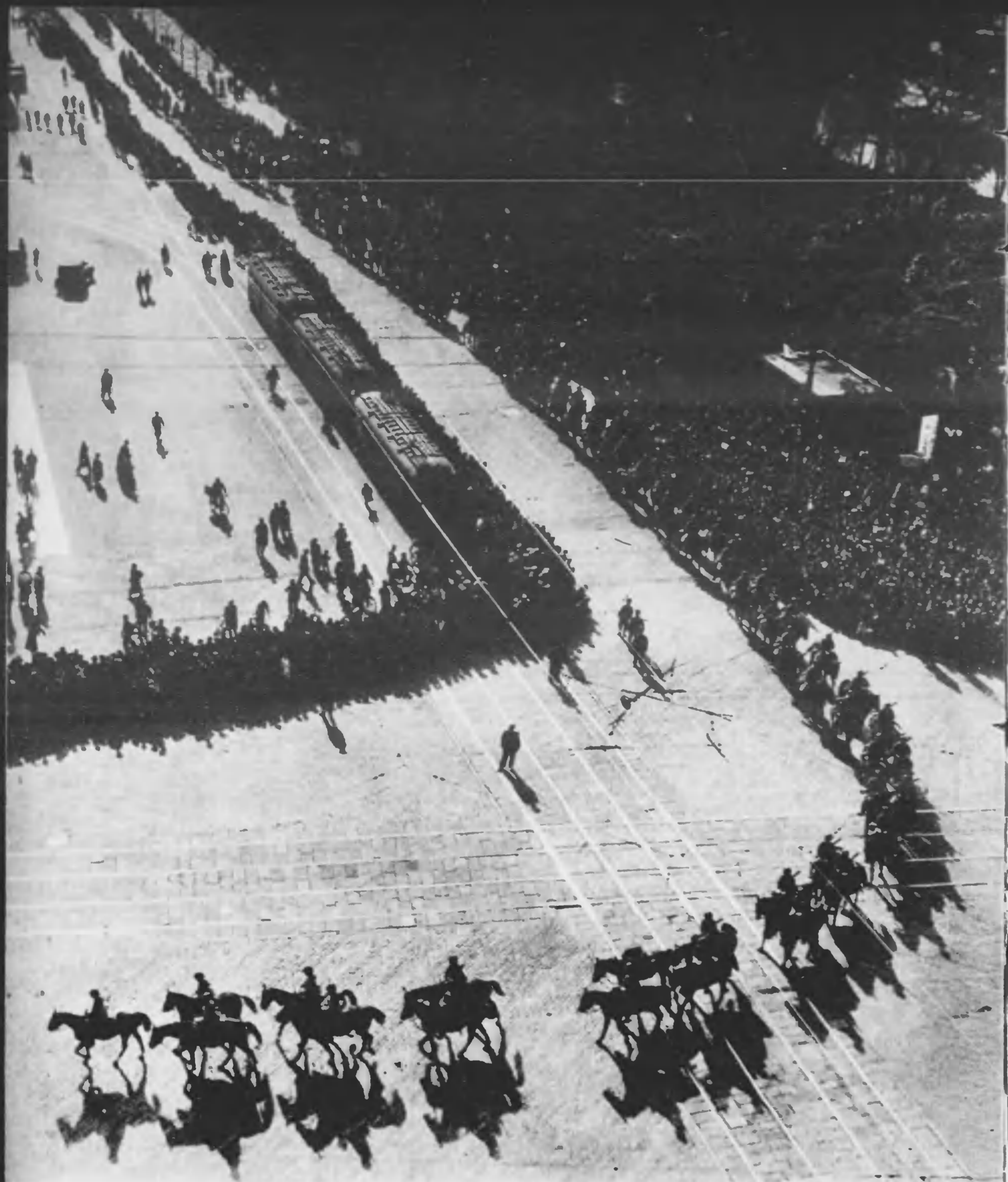
内閣情報部編輯
二月廿二日・第三十五號・十卷

昭和十三年三月二十二日 第三號 東京新聞社 印刷部 印刷 四三三三番 行（部） 四三三三番 行（部） 第五十三號



三河の新天地





支那事變國債

郵便局賣出し

大藏省

二月廿一日
三月四日

十円券より千円券までの六種類
此の國債は郵便局で何時でも買上げます

紀元二千五百九十九年の佳節、二月十一日は碧空清朗の契機、建國日和であつた。

この日節大路に繰り展げられた鐵蹄、愛馬大行進は時局下の佳節を奉祝するにふさはしい壯舉であつた。

一 愛馬進軍歌
くに出でから 愛馬共
共に戦ぬ戦で この馬と
攻めて進んだ 山河
結つた手帳に 血が通ふ

二 明日の戦は 手強いぞ
今日が戦場 たか
馬よつたり 眠れたか
明日の戦は 手強いぞ

三 弾丸の雨降る 戦場を
お前たよりに 乗り切つて
つとめはした あの時
没いて林を 食はしたぞ

四 戦問袋の お守り
掛けて戦ふ この袋を
ちりにまみれた 戦場に
なんで涙か 知よせて

五 伊達には頼らぬ この御
まつきき願つて 突込めば
何ともいぞ 敵の陣
馬よ 駆け 敵陣を

六 お前の背に 日の丸を
立て、入城 この旗歌
兵に歩らぬ 天晴れの
勢は永く 忘れぬぞ
陸軍省指定

撮影 梅本忠男



農力行の彼等には早くもトラクターを買ひ入れ
ての大規模にも見られるやうになつた。一望千里の
沃野は耕やして種を播けは豊かに買ふのだ。



牧畜は農業と並んでコザック農
民の傳來の天職だ。豚の世話牛の
乳搾りは娘たちの毎日の仕事だ。

おちいさんから孫まで、一家揃つて働いて、朝は
る午飯のうまさ、家から乗つてきた馬も草を食つて
ゐる。暖かい陽の中にたゞ平和だけを享けて。



三河の新天地

ウハンス

白系露人の集居部



清渡をうけて水車がゴト〜と
のどかに響つてゐる。豊かにとれ
た小麦はこゝで製粉される。

小麥粉の共同出所のために三河
製粉会社が出来てゐる。こゝでは
露民に雑貨も賣つてゐる。

撮影 南滿洲鐵道株式会社



滿洲國が誕生して早くも七周年、王道の慈光愈々
邊土にも冷ぬき、北滿の一角三河地方に赤
露の桎梏を逃れて安居樂業する白系露人の集居部
落がある。

哈爾濱、滿洲里間の鐵道、濱洲線の海拉爾から
北へ百五十キロ、西はアルグン河を挟んでソ聯と
接し、東は興安嶺支脈の密林につゞく一帯の秘境
ハウル、トルブル、ガンの三河が豊饒な沃野を温
ほすところ、これが三河地方である。

三つの河に沿つて風を避け、日光に恵まれるゆ
るやかな南面のスロープに點々と部落をつくる彼
等、彼等こそはかつて帝政ロシア時代ザバイカル
地方に據つて茫漠のシベリア平原を鐵蹄の音も勇
ましく縦横無盡の活躍をつづけた精悍比ひなきコ
ザック兵であつた。十月革命起るや赤色政府の統
治下に生きることを選ばず、墳墓の地ザバ
イカルを去つてこの地に移住した彼等六十萬のザ
バイカル・コザックは、農耕地を開墾し、牧畜に

いそしみ、ひたすら第二の故郷建設に努力した。
しかし、國境を接して反ソ的コザック農民の居
住することはソ聯に取つては目の上の瘤である。
一九二九年には有力な赤色バルチザン隊が組織さ
れ國境を越えてこの地方を襲撃し、虐殺、掠奪と
暴虐の限りを盡して過去幾年彼等が血と汗の結晶
を一夜にして奪ひ去つてしまつた。また一九三二
年の秋には更に蘇炳文一味の反亂が起り、住民は
再び反軍の賑なき請求にあつて塗炭の苦しみを
嘗めねばならなかつた。

滿洲國の誕生は悲運に喘ぐ彼等コザック農民に
取つて天來の光明であつた。五色旗一たび翻へつ
て天恵の沃野に生活の愉快は再び彼等の手に歸つ
た。樂土三河は滿洲國政府のあたゝかい保護と彼
等のもまざる努力によつて見事再建された。いま
豊かな穀倉から聞える長閑なコザックの歌、家畜
肥える牧場に見える楽しいコザックの踊り、彼等
の喜びにあふれる姿こそ樂土滿洲國の象徴である



三河の新天地



コザックから馬はなすことが出来ない。昔忘れぬ騎馬訓練は精悍なコザック騎兵時代を偲はせる。



↑ 男たちが野に出て働く時、老婆や子供は静かに家を守る。朝に餅をやる子供たちに丘の上から教會の鐘がきこえてくる。
 ↓ 日曜日、教會では禮拜式がはじまる。丸木造りの教會に大人も子供も聖歌を放ひ、静かな祈りを捧げに遠くから集まる。



春に秋に祭の日のコザック踊りは何といつても楽しいもの。限りだ。手風琴のリズムに合はせて、生活の喜びが野の果まであふれ流れる。



↑ 嬰兒は産み前に、幼児は母のまはりに、嬰兒は安らかに、幼児は豊かに育てられてゆく。寮村な台所に春の陽がぽかぽかと流れ込む。



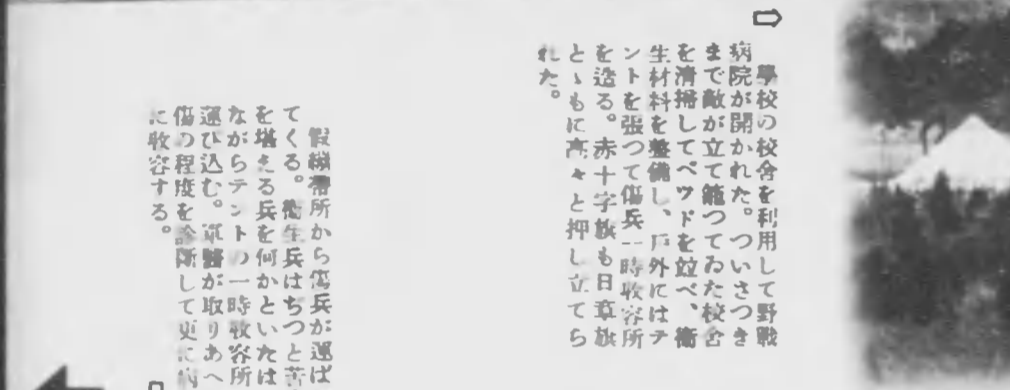


肩の上で「弾草がみたい」と訴へる傷兵を衛生兵は静かに草の上に降ろして草に火をつけてやる。乾いた草がふつと吐く煙を衛生兵は重い気持でちつと見つめる。

假山崩帯も 弾の中

野戦病院

十



学校の校舎を利用して野戦病院が建てられた。ついさつきまで敵が立て籠つてゐた校舎を清掃してベッドを並べ、衛生材料を整備し、戸外にはアメントを張つて傷兵一時收容所を造る。赤十字旗も日章旗とともに高く押し立てられた。

假山崩帯所から傷兵が運ばれてくる。衛生兵はちつと苦痛を堪える兵を何かといはばりながらアメントの一時收容所に運び込む。軍醫が取りあへず傷の程度を診察して更に病室に收容する。

撮影
内閣情報部

あそこで戦友がやられたな、と見ると衛生兵は自分の身の危険などは丸で忘れて弾の中をたんでゆく。戦友は倒れても鉄を放さない。戦友を抱き起した衛生兵は敵弾が頬をかすめても綱帯する手を休めない。

「明拂五時を期し、〇〇總攻撃」の命令が第一線部隊に下つた。第一線各戦團部隊の緊張は勿論のことだが、この部隊所属の衛生兵も亦忙しく脱脂綿、繃帯、ガーゼ、三角巾、消毒薬等をとりのへる。第一線部隊への攻撃命令と同時に後方基地にある兵站部隊には「占領と同時に〇〇に進軍すべし」の命令が下る。部隊の一部は豊富な糧秣、弾薬を補給するとともに、衛生隊は占領地に出来るだけ早く野戦病院を設けねばならない。

「明拂五時を期し、〇〇總攻撃」の命令が第一線部隊に下つた。第一線各戦團部隊の緊張は勿論のことだが、この部隊所属の衛生兵も亦忙しく脱脂綿、繃帯、ガーゼ、三角巾、消毒薬等をとりのへる。第一線部隊への攻撃命令と同時に後方基地にある兵站部隊には「占領と同時に〇〇に進軍すべし」の命令が下る。部隊の一部は豊富な糧秣、弾薬を補給するとともに、衛生隊は占領地に出来るだけ早く野戦病院を設けねばならない。

敵々激戦が展開される。と、敵の猛射の中を匍ふやうにして攻めてゆく味方の間を縫ひ、身を挺して活躍してゐる兵がある。衛生兵なのだ。傷いた戦友を弾雨下に手當し、いち早く後方に運んでゆく。

第一戦部隊が〇〇を占領すると、残敵掃蕩が済むか済まないうちに早くも衛生隊は凡ゆる危険を冒して乗り込み、適当な家屋を利用して大急ぎで野戦病院を開く。假山崩帯所からは積々と傷兵が運び込まれる。衛生兵は朝から晩まで、晩



から朝まで飯を食つてゐる暇も、寝る暇もない。敵は、退却の際に井戸やクワイクに病源菌を投げ込んでゆくことがある。それと知らずにこの水をのめば部隊も難民も猛烈なコレラやチブスに患され狼狽を極める。こんな場合衛生隊は更に決死の覚悟で恐るべき病源菌とも闘はねばならない。

やがて第一線部隊は前進、X Xへの攻撃を開始する頃、〇〇の野戦病院は僅かな警備兵にか護られてゐない。敵残兵はそこを這つて襲つてくる。赤十字旗がはつきり見えておても、敵には人道も憐れみもない。警備兵だけで足りなくなると衛生兵も敢然と銃を執る。衛生兵から軍醫まで総動員、銃身の焼けるまで撃ちつづけ、三晝夜の後やうやく敵を撃退したといふ例もある。

赤十字の徽章を自分の血で染めつゝなほ戦友の、時には敵兵の看護にさへ身を献げて頼みない衛生兵の姿は、歴史に限りなく輝く。



十字
野
戰
病
院

野戰病院の衛生施設は開設後日を経るに従って次第にととのひ、内地の病院と變らぬ完璧を期するやうになる。薬室には各種の薬品が豊富に並び醫療器具が準備される。



活字が見たい。戦線の勇士たちは一人残らず文字に飢えてゐる。殊にベッドに横たはる傷兵はものを讀まが。衛生兵はその氣持を察して八方探し廻つて古雑誌を手に入れ、暇をみてはかうして讀ましてやる。

病室は清潔に！衛生兵は病室の掃除もする。食糧ながら榎木鉢も何處からか苦面してくる。傷兵たちの苦痛を何とかして和けようと、武骨な體を休む暇なく働かしつゞける。

飯の時間、傷兵はベッドに起き込んでゐる。衛生兵はその一人一人に飯を配つて廻る。起きられない兵にはベッドの隅に寄つて一口一口喰べさせてやる。



『どうだね、具合は？』運び込まれた時はひどい出血のために危かつた兵も、懸命の看護で大部血もよくなつた。看護員の衛生兵の顔にはつと安堵の色が浮ぶ。



戦場に 散った 花

柳澤もよ

支那軍が起るとともに激戦の陣に身を投げ
直軍士へ心からの慰めと温かい言葉を
送るに努めた白衣の天使——日本赤十字社
看護婦の活躍の姿々として戦場の塵に
散った花の如き看護婦の兵士の行動とともに
この戦場に散った花の如き看護婦の姿々
このほど全国の支那から東京の日本赤十字社
に報告され近く同社から上梓されることになつ

長野縣諏訪郡野村の農村にも「出征」の長隊
が立てられ、支那軍の激戦が直軍の陣にまぎ
まぎと刻まれていた。村の若者は銃を手に代へて戦
線へへと勇んで向つた。鎮守の森には夜中まで
軍の武運長久の祈願が繰り返され、全村は、暴支
の軍に燃えていた。かうした村の感激が一日一
と暮れば、まるきり支那軍の砲火に二女日本赤十字
社看護婦柳澤もよさんの胸のうちに燃え、泣き
で一杯であつた。戦線は激々擴大され昭和十二年八
月九日には大山海軍大尉事件が起り、鎮守の森が海軍
陸軍に占領されて上海攻撃の火蓋は切られた。疾風果
敢な軍は早くも同月廿一日吳淞鎮を占領した。こ
の戦報に村が歡喜に酔つてゐたときも柳澤さん
は一人村はづれにある亡兄の墓前に黙々と佇んで
ゐた。



もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。

同九月廿九日柳澤もよさんの許へ始めて召集令
が下つた。召集令状を握るや否や彼女の淋しそいな
顔は見る／＼紅潮し、昨日まで黙々と佇んでゐた
亡兄の墓前にかけつけ感涙の涙で「兄さん、今も
よは戦線へ参ります」と報告、日本赤十字社長野縣
支部〇〇看護員として雄々しく北支に向つた。十
月十四日柳澤さんは連勝部隊に属し天津の地を踏ん
でゐた。天津兵站病院も傷病兵で一杯であつた。責
任の強い彼女は「支持兵は愛と献身の看護で必
ず治す」といふ堅い決心を持ち不眠不休の看護を積
めてゐた。

もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。



丁度その頃海は荒れ、激しい颶風季節であつた。
船を呑むやうな激浪に船體の動搖は甚だしくつた。
船に揺られぬ小林さんは約けつて寝ると、船室に個
まされながら日夜精進看護兵の看護に當つてゐた。
收容者は殆ど重傷で懸命に手當を盡してゐたが、
患者中から数名のコレラ菌が現はれたことは
看護員一同は驚愕した。遂に船は内地の山を見
た。

がら〇〇港外に三日間の假泊を命ぜられた。こ
の間小林さんの秘密な防疫作業は続けられた。責任
の強い彼女はまるで自分の不注意からでもコレラ
患者を出したものであらうと、寝食を忘れて防疫に從
事し、遂に過勞から十月二十日腹痛を訴へ始め
た。多量の結果急性腸炎レウマチと判り、同二
十二日召集解除となり三重縣安藝郡草村村の自宅に
歸省療養中急に病勢變化十二月九日遂に三十五歳を
以て歿した。

もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。

丁度その頃海は荒れ、激しい颶風季節であつた。
船を呑むやうな激浪に船體の動搖は甚だしくつた。
船に揺られぬ小林さんは約けつて寝ると、船室に個
まされながら日夜精進看護兵の看護に當つてゐた。
收容者は殆ど重傷で懸命に手當を盡してゐたが、
患者中から数名のコレラ菌が現はれたことは
看護員一同は驚愕した。遂に船は内地の山を見
た。

小林さんの責任の強いことは同郷支部に次のや
うな話が残されてゐる。
昭和四年小林さんが大阪市北區常安町淑徳看護婦
會に勤務中、兵庫縣下に陽子さんが發したが、彼
女は、この看護を遂げて引受け、遂に自らも感寒病
生活をしてから一符の責任感が培はれたものである
小林さんは高次郎さんの三女として生れ、大正八
年今村女子技藝科修了、大正十三年日本赤十字社
看護婦に任命されたものである。

もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。

丁度その頃海は荒れ、激しい颶風季節であつた。
船を呑むやうな激浪に船體の動搖は甚だしくつた。
船に揺られぬ小林さんは約けつて寝ると、船室に個
まされながら日夜精進看護兵の看護に當つてゐた。
收容者は殆ど重傷で懸命に手當を盡してゐたが、
患者中から数名のコレラ菌が現はれたことは
看護員一同は驚愕した。遂に船は内地の山を見
た。

日本赤十字社長根縣支部看護婦新田ハルさん
も一昨年八月十日同支部〇〇地に召集、病院船〇
〇に召集された。八月二十日には早くも山形部隊に編入、上海から
の第一回の傷病兵送還に從事、積載を押して傷兵を
等してゐた。第一回の上海行以來新田さんは東
支那の戦場と闘ひながら昭和十三年七月二十日の
第十二回日〇〇からの歸路航行中でのこと、東
支那の戦場は、海は荒れ、船は揺られて病院
船は木の葉のやうに翻弄された。この夜、船の動
搖を懸命にこらへながら傷病兵のベッドを一回りし

もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。

丁度その頃海は荒れ、激しい颶風季節であつた。
船を呑むやうな激浪に船體の動搖は甚だしくつた。
船に揺られぬ小林さんは約けつて寝ると、船室に個
まされながら日夜精進看護兵の看護に當つてゐた。
收容者は殆ど重傷で懸命に手當を盡してゐたが、
患者中から数名のコレラ菌が現はれたことは
看護員一同は驚愕した。遂に船は内地の山を見
た。



支那軍が起るとともに激戦の陣に身を投げ
直軍士へ心からの慰めと温かい言葉を
送るに努めた白衣の天使——日本赤十字社
看護婦の活躍の姿々として戦場の塵に
散った花の如き看護婦の兵士の行動とともに
この戦場に散った花の如き看護婦の姿々
このほど全国の支那から東京の日本赤十字社
に報告され近く同社から上梓されることになつ

もよさんの苦勞も報いられる日は来た。徐州戦
線に加入して一ヶ月半、五月十五日には徐州完全攻
陥はなつたのである。激戦を物語る負傷兵の数は多
かつた。

丁度その頃海は荒れ、激しい颶風季節であつた。
船を呑むやうな激浪に船體の動搖は甚だしくつた。
船に揺られぬ小林さんは約けつて寝ると、船室に個
まされながら日夜精進看護兵の看護に當つてゐた。
收容者は殆ど重傷で懸命に手當を盡してゐたが、
患者中から数名のコレラ菌が現はれたことは
看護員一同は驚愕した。遂に船は内地の山を見
た。

新田ハル

竹内喜代子



毎日多數の患者の治療に、手術に、回診に流石
は戦地だと思はれます。戦線から送られて来る
患者さんを見ますと本當に兵隊さん方の御苦勞
がつく／＼と感ぜられます。自分達の體のこ
となど考へてはゐりませんが、當分の夜は歩け
ぬ足の不自由な患者さんを次から次と御世話す
る時はじめて自分達の勤めの如何に重大である
かを感じられます。知る人もなく苦しい病床に
臥す將兵の方々は唯私達が心を盡して上げ
るより方法が御座いません。及ばずながら母とも
なり、姉ともなつて看護士としておます。

小林起く

支那日本赤十字社支隊〇〇看護員小林起く
は一昨年九月十日〇〇港を出港した病院船の上
甲板で洋が見えなくなるまでハンケチを振り駆馳の
際、身を置く感涙に浸つてゐた。
九月廿三日上海に着いた病院船は忽ち傷病兵三百
名を收容し、目のあたり激戦の姿を傷病兵に見たの
であつた。小林さんの活躍はその日から始まつた。
「痛い」「足が重たいやうだが、見て下さい」「八方か
ら襲ひかゝる激戦が飛ぶ中を、甲斐々々しく立ち働
いた。

國策料理 鯨鰓鮭

鯨鰓鮭料理を食べせよ。廉價で栄養に富み、しかも簡単に出来て美味しいことが國策料理の生命です。

わが國でその漁獲量も多い鯨鰓鮭。今事變以來軍需物資に毛皮を補給するも盛んになつた見舞の肉はまさにこの條件にかなつてゐます。

しかし、鯨鰓鮭は何れも臭くて食へぬといふ方があります。この原因は臭いの場合は臭いの生肌を除けばよく、鯨鰓鮭は調理法によつて臭いも減つて一寸乙なものとなります。

栄養價から見れば蛋白質含有量は鶏の二十四パーセント、脂肪の二十二パーセントで牛のロースの含む十六パーセントにはるかに優り、鯨鰓鮭は十六パーセントで同格ですが、ビタミンDを豊富に含んでゐます。

東京市は二月八日一般家庭の料理も、時局新國家的でなければならぬと國策料理講習會を開きました。料理の材料は鯨鰓鮭、鰓鮭が用ひられ、講習生の方々も奮然がもつ國民保健の能を知らうと熱心に講習をうけました。

指導 筒井政行
撮影 梅本忠男

刺だら女も甲斐なく「肝臓は厚目のそき切」と講義ノートを暗誦しながら作る國策料理の降幕は速か出来たる味が待ちこがれてゐる。



1 鯨ステーキ
材料 五人前として鯨肉四〇〇瓦、バター一〇〇瓦、玉葱五〇瓦、大豆油食匙八杯、醤油二五瓦、醤油、味淋各食匙五杯、味の素、粒胡椒少々（材料費六十銭位）

準備 大豆油の中に玉葱のせん切と、くだいた粒胡椒、月桂樹の葉を入れる。この中五分位のゆきの火切の肉を三十分位漬けておきます。

作り方 フライパンを火にかけて牛の生油を焼き肉を入れて中火で両面を焼き、味淋醤油をさして、こつてりとした味に焼上げます。付合せに野菜のホワイト・ソースをつけて

2 鯨のカレーライス
材料 五人前として鯨肉、大根、玉葱各三〇〇瓦、人参一五〇瓦、馬鈴薯二五〇瓦、炒め油食匙四杯、油食匙五杯、メリケン粉食匙六杯、カレー粉食匙一俵、水出汁五合、鹽少々（材料費四十九銭位）

準備 野菜は四、五分位の厚の目に切り、鯨肉は五、六分の薄いに身を切ります。

作り方 鍋に油を熱し大根、人参、馬鈴薯を入れて炒め、水出汁をさして煮ます。別に鯨と玉葱を炒め、野菜が軟くなつたとき（加へば、胡椒で味をつけます。フライパンに油を熱し、火からおろしてメリケン粉を灰色に炒め次にカレー粉を入れて混ぜ合せ汁を少しづつ入れてのばしてか鍋にもどして煮込みます。



3 兎の山吹団子
材料 五人前として重地四〇〇瓦、豚生脂四〇〇瓦、玉葱一〇〇瓦、パン粉食匙八杯、味噌食匙三杯、味淋食匙一俵、梅干、胡椒、ケ（材料費六十五銭位）

準備 玉葱の皮肉の中、豚の生脂を挽いて混ぜ合せておきます。玉葱はみじん切りにし、味噌をかたまりにし、味噌と白味噌に分け、味噌は裏ごしを通し白味噌は細かくすりおきます。

作り方 まぜ合せた肉の中へ玉葱、パン粉、味噌、梅干、玉葱、刻んだ白味噌を入れて混ぜ合せ小な卵位のお湯をたぎらし、蒸し器に布巾を敷いた上にならべて十五分位蒸し、蒸し上りしたら一寸さませして裏ごしを通した味噌をきれいにふりかけます。



4 鯨の粕汁
材料 五人前として鯨五尾、人参、牛蒡各一〇〇瓦、大根一〇〇瓦、葱二〇〇瓦、酒粕白みそ各一五〇瓦、煮出汁四合（材料費二十二銭位）

準備 鯨は丸ごとアツ切にして骨をふりかけて二十分位おきます。人参、牛蒡、大根は皮付きのまま一口位のまじ切にします。葱は葉共小口から細く切ります。酒粕は五分位のぶつ切、酒粕はひたひたの湯を加へてしばらくおきます。

作り方 人参、牛蒡、大根を鍋に投入し、お湯を注ぎ、煮込んでお湯が半分になるまで煮ます。酒粕と味噌を一俵にすり、野菜の煮汁の中へ注ぎ入れ、煮汁の中へ入れて煮込み、葱のぶつ切、刻んだ大根を入れて一と煮立ちしたら火を止めます。



國民體位の向上は家庭の養所からも協力出ます。集まつた家庭の主婦はやすく美味しい國策料理の出来上るまでを傾聴してゐます。

肉は薄くそきます。講師の説明に講習生は一斉に庖丁を振り一生懸命そいでゐます。『全肉は柔くて料理は簡單』といひたげな手振きです。



アルプス 雪中演習

ドイツ陸軍



1



3



4



2



5

燃えあがるナチス連は雪も氷も何のその、ドイツ陸軍は一月下旬から二月にかけて厳冬のアルプス連山に勇壮な雪中演習を行った。

南方國境に近い某基地を出発した部隊は實戦同様の隊形を整へて勇躍進軍をつづけること数日、愈々目的の演習地アルプスに達するや、華々しい攻防演習が展開された。

見渡せばたゞ白煙々の峻また峻峯で

ある。その峯から谷へ、谷から峯へ、スキー部隊は白雪を踏のやりに蹴つてつき進む。砲兵隊は砲車を馬の背に黙々と峻嶽を攀ち、と、やがて頂きの一角から峻々と砲口が天に吼える。敵空軍の襲撃を邀へて雪をかぶつた樹たちの下からは高射機銃が鋭い火花をはきつづける。

雪を進み、雪に深、實戦死からの演習句日、アルプス連山は近代兵器とナチス魂の烈々たる闘志に覆はれて明け暮れた。

- 1 峯から峯へ、一気にスキーを踏つて電線を架設する電信隊。
 - 2 負傷兵は急造の綱に載せて運ぶ。
 - 3 砲車を分解して馬の背に積み、雪又雪の坂を攀ちる。
 - 4 敵機襲来！雪の樹蔭から猛然と高射機銃が火をはく。
 - 5 轟然と一發！砲隊は峯にひびき、谷にこだまし、樹立の雪をはふりおとす。
- 写真協会

疲労恢復に オリザニン



SANKYO 共

東京市日本橋區室町
三共株式会社

ビタミンBの始祖

疲労の原因は糖分の分解に依つて生じた乳酸が体内に蓄積するからであると言われて居ります。ビタミンBは乳酸の生成を防止すると共に過剰の乳酸を分解して疲労の防止、恢復に顯著な奏效を見ることは實驗諸家の實驗するところでもあります。従つてビタミンB類の學界に於ける標準品たるオリザニンは疲労倦怠感、衰弱感時には勿論各種のスポーツ等への應用が推奨されて居ります。

(説明書違呈) 粉末、錠劑、液、エキス、注射液

ORYZANIN

座銀・京東
社信通盟同 法人 所行發
番〇〇〇五八京東座口替振

!! 賣發版年四十和昭



見よ!!
時事年鑑の威容
昭和十四年版
理想的な年鑑・經濟的な年鑑

『時事年鑑』は凡ゆる年鑑と百科辭典を一冊壓縮した我國唯一の綜合大年鑑であります。内容は今更中すまでもなく飽く迄も『時事年鑑』二十年の傳統を生かすと共に本社獨特の組織と完備せる通信網によつて資料の豊富、統計數字の正確を誇り得る最新のものとして確信致します。『昭和十四年版時事年鑑』は政治、外交、軍事、財政、經濟、交通、労働に、更に文藝、美術、スポーツ等に、事變下日本の凡ゆる實相と國際非常時局の情勢を克明に記録しつくしたもので、總ての年鑑中の王座『標準版』の自信を以つて世に贈るものであります。敢へて銀行、會社、工場學校は勿論御家庭にも是非一部を御備へになる様お奨めする次第であります。

定價 金二圓五拾錢

送料 地方三十三錢 海外二十六錢
=いさ下込申御時即日本=
(京東座口替振は又局社支社本)
いさ下用利御を〇〇〇五八

實際智識の源泉
萬戶必備の百科全書
一冊に凡てを備へたる綜合大年鑑
唯一の四六判判堂々四〇頁



読者のカメラ
少年剣士は進む
大分市金池小学校の義士會は男女二組に別れ、全兒童が義士となつて先生が扮した吉良上野介を探すこと四十分、遂に合圍の呼子が高らかになる。意外な上野介、しかも女兒童によつて發見され、鼻高の女兒童の面々。



少年剣士は進む
東京市立第一
國民精神發揚の長旗を掲げ、進む少年剣士、市内四十八小学校から選ばれた小剣士六百名は靖國神社を拜禮堂々市内を行進した、居たぞ上野介
大分市野野町
大塚 一仁



讀者のカメラ
應募規定
一、題材 國民精神發揚をテーマとした戦時寫眞、一枚にても寫眞にても可也。
二、印章の大きさはなるべくヤビキ判程度が好まし、裏面に寫眞説明及び住所姓名明記のこと。
三、締切 毎週大曜日。
四、賞品 内閣印刷局賞状又は金五圓以上の賞金を得ず、また寫眞作品は一切返戻せず、部は郵送す。
汗の結晶は懸問發
城島小學校
酒の町城島小學校高二年の男兒童は放課後の一初を先生考案の機械で酒米の古俵を買つて来てせつせと瓶蓋を造つて來てかうして働いて得たお金は軍將士の慰問袋となるのである。

所	定	價	中
寫真週報(禁轉載)	半ケ年(前金)二圓四十錢	一ケ年(前金)四圓八十錢	一ケ年(前金)四圓八十錢
發行所	東京市野野町城島小學校	東京市野野町城島小學校	東京市野野町城島小學校
印刷所	内閣印刷局	内閣印刷局	内閣印刷局
所	東京市野野町城島小學校	東京市野野町城島小學校	東京市野野町城島小學校

★表紙
花巻大なる三つの軍艦にラクラクを運轉するゼベライクル・コザククの青年、満洲國の誕生といふに平野のちかへつてから七年、天恵の沃野に今や彼等はトラクタ1使用の大發展を遂げ、めたのである。業十三河、業士滿洲國の建設に眼を向ける。
撮影
南滿洲鐵道株式会社

東京週報 昭和十四年二月十二日 第三千四百六十二号

純國産

胃腸の弱い人は……

痩せがちで顔色が悪い、貧血する、仕事に興味が湧かない

……その多くは栄養上の缺陷——特にビタミンB複合体の不足から胃腸の機能が低下し食欲、消化、便通に異常を來すためです。一時的に胃腸の働きを刺激する消化剤や制酸剤よりも、不足した栄養素を補給して機能そのものを更生し常態に還すエビオス療法がより効果的なのです。

三〇〇錠：一圓六十銭



EBIOS錠

内閣印刷局印刷發行

(折込、報連)・A4特規定紙はき大の書本)